

# 【月案】4月・2歳児

## 今月の保育のポイント

- 新しい環境に慣れるよう、保育士がゆったりと関わり安心して過ごす。保護者と離れるのが嫌で泣く子どもに寄り添い、どんな保育士やお友達がいるかを伝えながら、ゆっくり興味を向けられるように援助する。
- 新しい環境でも親しみ、楽しく遊ぶ子どもの影響を受け、他の子どもに楽しさが連鎖していくように、保育士は楽しく遊びを共感し、広げていく。遊びに入りたいけど入れない子どもの架け橋となり、必ずしも遊びに入らせるのではなく、遊びを見ているだけの子どもの時間も時には受け入れる。
- 自分で新しいロッカーが分かるようにシールを貼るなど工夫し、自分で身の回りの用意をやりきる喜びを味わえるように、時間もゆったりめにとる。不安な子どもには保育士が優しく寄り添う。
- 1歳児クラスの時に慣れ親しんだ手遊びや、ペープサート等を行い、子どもが安定して過ごせるようにする。
- 連絡ノート等通して、保護者に子どもの様子を把握してもらい、1歳児クラスとは違う子どもの持ち物や用意物を分かりやすく記載しておく。

## 月のねらい

- 新しい環境に慣れ、保育者や友達に親しみをもつ。
- 保育者に気持ちを受け止めてもらい、安心できる環境の中でのびのびと過ごす。
- 好きな遊びを見つけ、楽しく過ごす。
- 自然に興味を持ち、触れたり遊びに取り入れたりし親しみをもつ。
- 体全体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 新しいクラスの生活の仕方やリズムに慣れる。
- 簡単な言葉でやりとりをすることを楽しむ。
- 体調の変化に留意し、心地よく健康に過ごせるようにする。

## 週のねらい

### その1

- 1週目：新しい環境に慣れ、安心して過ごす（養護）
- 2週目：遊びを通して保育者や友達と関わり、親しみをもつ（教育）
- 3週目：好きな遊びを見つけ、存分に楽しむ（教育）
- 4週目：自然に触れて遊び、春の自然に興味をもつ（教育）

### その2

- 1週目：保育者とのかかわりのなかで、情緒が安定し、快適に過ごす（養護）
- 2週目：戸外で身近な自然物や生物に興味を持ち、触れたりして楽しむ（教育）
- 3週目：保育者や友だちとの関わりを通し、一緒に遊ぶ楽しさを味わう（教育）
- 4週目：トイレでは便器に座る経験をして、タイミングが合えば排尿する（教育）

### その3

- 1週目：自分の思いを受け止めてもらいながら安心して過ごす（養護）
- 2週目：様々な遊具や用具に関わりながら体全体を使って遊ぶことを楽しむ（教育）

- 3週目:簡単な身の回りのことに取り組んでみようとする(教育)
- 4週目:新しい環境での生活リズムに慣れる(養護)

## その4

- 1週目:自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする(教育)
- 2週目:好きな手遊びをしたり絵本を見ることを楽しむ(教育)
- 3週目:新しい環境による体調の変化に留意し、健康に過ごせるようにする(養護)
- 4週目:鯉のぼりや五月人形に興味を持つ(教育)

## 前月末の子どもの姿

### 養護(生活)

- 食事には意欲的であるが、スプーンを使って上手く食べる子どももいれば、手づかみで食べてしまう子どももいる。
- 自分の持ち物に興味を持ち、棚から衣類やオムツを出したり着替えたりするなど身の回りのことを自分でやってみようとする姿がある。
- トイレでの排泄に成功し、行きたい時にトイレを指さしたりズボンを押さえたりするなど仕草で伝えようとする子どももいる。トイレトレーニングの進捗には個人差が大きく、まだまだ感覚が分からない子どももいる。
- 戸外に出ると花や生き物に興味をもち、指さしたり「はっぴ」「はな」「あつた」など簡単な言葉を発し、発見を喜んでいる。
- 新しい保育室で過ごすことを喜ぶ一方で不安になる様子が見られている。
- 眠るまでに時間がかかったり、早く目覚めたりする。
- 「これなに」と聞く姿が見られるようになってきた。
- 保育者の挨拶に言葉で応えようとする。

### 教育(遊び)

- 「やだ」「しない」「やりたい」「これする」のような簡単な言葉で気持ちを表現したり、思いを態度で表したりと個々の差がある。
- 友達の使っている玩具に興味を持ち、一緒に遊んだり自ら関わりに行き遊ぶ姿が見られる。一方で、好きな遊びに夢中になり、一人で繰り返し同じ遊びを楽しむ子どももいる。
- 絵本を見て気に入った言葉を真似したり一緒に発したりしながら楽しみ、発語の機会や語彙が少しずつ増えてきている。
- 音楽に合わせて身体を動かしたり、手遊びを真似したりすることを楽しみ、リズム遊びに喜んで参加している。
- 製作やお絵かきなどの活動にも意欲的に参加し、楽しんでいる子どもが多い。
- 玩具のやりとりの際、「かして」「まってるね」と言葉にする。貸してもらえらるまで後を追ったり、玩具を引っ張ったりする。
- 活発に遊び、巧技台やトンネル、すべり台等で遊ぶことを喜ぶ。
- 慣れ親しんだ歌の一部を歌ったり、楽器を使って遊ぶことを楽しんでいる。
- ブロックや粘土等で作りたい物があり、保育者に作ってほしいことを伝える。
- 保育者と一緒にごっこ遊びをすることを喜ぶ。

## 活動内容(五領域対応)／環境構成と援助

### 養護(生活)

- 活: 食べこぼしながらもスプーンを使って食べようとする。(健康)  
環: スプーンを使うことが習慣づくように繰り返し声をかけていく。無理やり持たせるのではなく、子どもが使ってみたくなるような言葉かけを行う。
- 活: 食事の後には手や口を拭いたり保育者に綺麗にしてもらいながら、身の回りを綺麗にする心地よさを感じる。(健康)  
環: 食事の際には手拭き用と口拭き用の布巾やティッシュを準備しておく。子どもも使えるように置く場所も工夫する。
- 活: 衣類の着脱や帽子を自分の棚に置くなど、身の回りのことを自分でしようとする。(健康)  
環: 帽子や上着など子どもが扱いやすいものを子どもが届く場所に準備し、身の回りのことを自分で行うことに興味を持てる環境をつくる。
- 活: 戸外から帰ったら手洗いうがいをする、排泄の後は手を洗うなどの基本的な生活習慣を覚える。(健康)  
環: 排泄のあとや戸外遊びから帰った際には、その都度手洗いを声かけていく。忘れてしまう子やうまく出来ない子どもには援助し、少しずつ自分で行えるようにする。
- 活: 保育者に誘われてトイレに行く。また、自ら行こうとする。(健康)  
環: 個々のトイレのタイミングを把握し、トイレに誘っていく。嫌がる時には友達と一緒に誘ったり、タイミングをずらして誘うなど様子を見ながら援助していく。
- 活: 保育者に気持ちを受け止めてもらいながら、安心して過ごす。(健康・人間関係)  
環: 子どもが不安なことや困ったことに対して「～だったのかな」等、スキンシップを取りながらゆったりと代弁し、やさしく受け止める。
- 活: 保育者に安心して関わり、甘えたり、自分の気持ちを表す。(人間関係)  
環: ゆったりとした雰囲気づくりをし、ひとりひとりの思いを丁寧に受け止めながら、満足感と安心感を得られるようにする。
- 活: 保育者に見守られ、安心して眠る。(健康)  
環: ひとりひとりの入眠、睡眠の様子や癖を把握し、それに合わせてやさしく身体をさする等、安心して眠れるようにする。
- 活: 好きな場所で過ごしたり、自分のペースで食べ進めたり、自分の居場所を見つけながら安定して過ごす。(健康・人間関係・環境)  
環: 子どもの表情や行動に着目しながら、子どもが徐々に好きな遊びや安心できる環境に身を置けるように、好きなおもちゃや段ボールハウス等、環境を整備する。
- 活: 保育者の挨拶に応じ、挨拶し合う心地よさを感じる。(健康・言葉)  
環: 保育者が視線を合わせながら笑顔で挨拶をし、真似しようとする気持ちや挨拶を交わす心地よさに繋げていく。
- 活: 進級児は生活の仕方、新入園児は園の生活リズムに慣れる。(健康・環境)  
環: ロッカーには個人のマークを付けておき場所を明確にしておく。又、「次は○○するよ」と分かりやすい言葉で伝えたり、状況に応じた言葉かけをしながら、少しずつ新しい生活に慣れていけるようにする。
- 活: トイレでの排泄後は水を流したり、手を洗って綺麗にしようとする。(環境)  
環: 「お水流そうね」「おててのバイキン綺麗にしようね」等と言葉かけしながら、トイレでの簡単なマナーを伝え、意識する姿を大いに認める。
- 活: 周囲の物に対する興味を「これなに?」と言葉にして伝える。(言葉)  
環: 興味を受け止め、名称を知らせたり、何をする物なのかを分かりやすく伝えていくことで知識に繋げていく。

- 活:新しい環境の中、友達と一緒に食事をすることを喜ぶ。(健康・人間関係)  
環:グループを作って食事をしたり、机の配置を変化させながら、楽しい雰囲気の中食事が出来るようにする。
- 活:園で過ごす中で簡単な約束事やルールがあることを知る。(人間関係)  
環:約束事を伝える時は、分かりやすい言葉で身振りやイラストを用いながら伝える。全体に向けて話す時間を設けながらも、意識して守ることは難しいことを理解した上で、様子に応じて個別に伝えていくようにする。
- 活:新しい環境に興味を持ち、探索しながら気付きを指差しや言葉で伝える。(環境・言葉)  
環:新しい保育室に対する興味を受け止めながら「ここでは○○するよ」「前のお部屋にもあったね」と言葉かけしながら少しずつ保育室を親しむ気持ちに繋げる。
- 活:保育者の話に興味を持ち、聞こうとする。(健康・人間関係・言葉)  
環:好きな手遊びで興味を引き出す。「お話するよ」「お話終わりだよ」と話の前後をはっきりと伝え、話の内容は具体的かつ端的にする。聞く姿を大いに認め、聞く力に繋げていく。
- 活:鯉のぼりを見たり、歌をうたったりしながら端午の節句に興味を持つ。(環境)  
環:気付きやうたう様子を受け止め、端午の節句について言葉や紙芝居を用いて知らせて興味に繋げていく。

## 教育(遊び)

- 活:戸外に出ることを喜び、散歩や戸外遊びを楽しむ。(健康・環境)  
環:好きな遊びや夢中になれる遊びが見つかるよう、玩具の遊び方を見せたり誘ってみたりして遊びの提案を行なっていくようにする。
- 活:自分の気持ちを簡単な言葉やしぐさで表現する。(言葉・表現)  
環:気持ちを伝えようとするが言葉やしぐさでなかなか伝えられず、手が出てしまう子どももいる。気持ちを代弁しながら気持ちを受け止め、表現の仕方を知らせていく。
- 活:絵本やパネルシアターを見ることを楽しむ。(表現・言葉)  
環:簡単な繰り返しのある絵本やパネルシアターを準備し、言葉を楽しみながらお話に触れられるようにする。
- 活:保育者や友達と関わって遊び、親しみをもつ。(人間関係)  
環:子どもと一緒に遊び、楽しい気持ちを共有する心地よさを子どもが感じられるようにしていく。
- 活:絵を書いたりのりやテープで紙を貼ったりする簡単な製作を楽しむ。(表現)  
環:製作は少人数で行うなど、危険のないような環境を整える。
- 活:音楽に合わせて身体を動かし、身体で表現する楽しさを味わう。(表現)  
環:同じリズム遊びや手遊びを繰り返し行うことで、子どもが親しみをもって楽しく身体を動かせるようにしていく。
- 活:戸外で散策遊びをしたり、保育者や友達と身体を動かして遊ぶ。(健康・人間関係)  
環:解放感を感じられるように、保育者ものびのびと楽しく体を動かし、楽しさが伝染するように仕掛けていく。
- 活:散歩で春の草花や生き物を見つけ、友達や保育者と共感しながら遊ぶ。(言葉・環境・表現)  
環:子どもの発見や感動に「すごいね」「これは何だろうね?」と共感しながら、興味や関心、好奇心を深められるようにする。
- 活:身近な歌を通して発音、発声する楽しさを味わう(言葉・表現)  
環:1歳クラスで歌っていた馴染みの歌を採用し、はっきりと、声量の強弱をつけながら歌い、子どもにとって変化が楽しめるように演じる。
- 活:友達の名前を覚え、呼び合いながら関わる心地よさを感じる。(人間関係)  
環:点呼やインタビューをしたり、歌をうたって楽しい雰囲気の中、友達の存在を意識出来るように働きかけ、関わりたいという気持ちに繋げる。

- 活: 走る・跳ぶ・蹴る・投げる等全身を使って遊ぶことを楽しむ。(健康)  
環: 巧技台や跳び箱、マット、トンネル等を組み合わせながら様々な動きを経験出来るようにし、出来たことや頑張っている姿を大いに認めて喜びに繋げる。
- 活: 保育者の仲立ちのもと玩具のやりとりをする。(人間関係・言葉)  
環: 「使いたかったね。貸してって言うんだよ」「ビックリしたね」等と互いの気持ちを代弁しながら寄り添い、玩具のやりとりを仲立ちしていく。
- 活: 春の草花や生き物等の色や形に関心を持ち、観察をする。(環境)  
環: 保育者が気付いて知らせたり、子どもの気付きを大いに受け止めていくことで、自然や色・形に対して興味や関心が深まるようにする。
- 活: 粘土や砂、紙等様々な素材に触れることを楽しむ。(環境)  
環: 一人ひとりの遊ぶ様子を見守り、気付きに共感しながら身近な素材に触れて遊ぶ面白さや表現する楽しさに繋げていく。
- 活: 保育者や友達とごっこ遊びをすることを楽しむ。(人間関係・表現)  
環: 保育者が見立てたり、ごっこ遊びに展開していくことでイメージを膨らませたり、言葉の幅を広げられるよう関わる。
- 活: 積み木やボタン、マグネット等指先を使った遊びを楽しむ。(健康・環境)  
環: 集中して遊び込める空間を作ったり、十分な数を用意しながら遊びの充実や手先の発達に繋げる。
- 活: 好きな遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ。(健康・環境)  
環: 前年度の担任から好きな遊びを引き継いだり、新しい遊びも準備しながら、継続して遊べる安心感や新しい遊びに対する興味に繋げ、一人ひとりが好きな遊びを楽しめるようにする。
- 活: 好きな物やイメージする物を保育者と一緒に形にしながらか遊ぶ。(表現)  
環: 単語や二語文を受け止め、作りたい物を汲み取りながら一緒に作っていくことで、イメージを膨らませたり、満足感に繋げていく。

## 健康、安全面で配慮すべき事項

- 日よって気温の差がまだまだある時期で、体調が崩れやすい。一人ひとりの体調を気にかけて、鼻水が出ていないか咳をしていないかなど細かな変化にも気付けるように注意してみいく。
- 少しずつ上手く走れるようになってきて、走り回ることを楽しむ子どももいる。室内では転倒や友達とぶつからないように気をつけてみいく。また、必要に応じて危険であることも伝えていく。
- 一人ひとりが遊ぶ様子を把握し、担任間で連携を図りながら人数確認や安全確認を行っていく。
- 前年度の担任から引き継いだ内容をもとに、担任間の役割や個別配慮等について話し合い、安心安全な保育を行う。

## 今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

### 製作

- あおむし製作／ゆらゆらつくし／てんとう虫製作

### 歌

- せんせいとおともだち／おつかいありさん／めだかのがっこう

## 絵本

- はるかぜさんぽ／パンダ ともだちたいそう／ぞうくんのさんぽ

## 手遊び

- ちょちょちあわわ／つくしんぼ／おべんとうばこのうた

## 室内室外遊び

- 風船遊び／大きな布でひらひら、ゆらゆら／はるかぜにのって

## 行事

- 入園式
- 身体測定
- 避難訓練
- 誕生会
- 個人面談
- 全体懇親会
- エイプリルフール(4/1)
- 花まつり(4/8)
- イースター(4/20)
- 恐竜の日(4/17)
- 昭和の日(4/29)

## 食育

- 楽しい雰囲気の中で食事をし、自分で食べ進めようとする。
- 食事の挨拶を覚え、きちんと挨拶をしようとする。
- 食材に触れることで、食べ物に興味や関心をもつ。
- 椅子に正しく座って食事をする。
- 友達と楽しく食べる中で、苦手な料理も食べてみようとする。
- 園の給食に慣れ、食べることを喜ぶ。

## 異年齢保育

- 子どもの緊張や不安を受け止め、自分のペースで安心して過ごせるように配慮しながら見守る。
- 年下の友だちに優しく接しようとする姿を認め、安全にやり取りを楽しめるように援助する。
- 少人数でのわらべうたあそびに誘い、友だちとのやり取りやふれあいを楽しめるようにする。
- 友だちと絵本のイメージを共有したり、簡単な言葉のやり取りを楽しめるように関わる。
- 年上の友だちへの興味を大切に、安全に遊びに加わることができるように配慮しながら仲立ちする。

## 職員間の連携

- 無理のない生活の流れや時間配分を話し合い、役割分担をしながらスムーズに動けるようにする。

- 前年度からの子どもの様子や個性、家庭環境などの情報を共有し、理解を深めながら関わる。
- 子どもの様子で気になる点があれば伝え合い、共通認識を持ちながら関わるができるようになる。
- 保護者からの連絡や家庭の状況の変化などを職員間で共有し、全員が把握して適切に対応する。
- アレルギー児への対応について家庭と確認し、調理員や看護師も含めた全職員が把握しておく。

## 地域と家庭との連携

- 保護者に子どもの様子をこまめに伝達したり連絡帳に書き記すなどし、保護者とも信頼関係を築けるようにする。
- 新しい環境で不安になったり情緒が安定しない子どももいる。不安感が少しでも取り除けるよう、家庭でのサポートもお願いしていく。
- 日中は温かい日が続くが、朝夕で肌寒い日も続く時期。体温調節しやすい衣類を準備してもらえよう伝えていく。
- 進級に対する保護者の不安や悩みに寄り添いながら、気持ちが軽減するよう関わる。
- 個人面談の際に園での様子を写真や動画で伝え、安心感に繋げていく。
- 身の回りのことに意欲的に取り組んでいることを伝え、着脱しやすい衣服の用意や記名の確認をしてもらう。

## 長時間保育の配慮

- 不安や甘えたい気持ちを受け止め、好きな絵本を一緒に読むなど、安心感を得られるように関わる。
- 好きな遊びを見つけてゆったりと楽しんだり、くつろいで過ごすことができる環境を整える。
- 子どもの排尿間隔に合わせてオムツ交換やトイレに誘い、心地よく過ごせるようにする。
- 疲れが出やすい時期なので、子どもの様子を観察し、必要に応じて休息を取れるようにする。
- 延長保育の部屋にある玩具の使い方を知らせ、安全に遊ぶことができるようにする。

## 自己評価

- 友達や保育者と関わり、親しみを感じることができたか。
- 新しい環境に慣れ、安心して過ごすことができたか。
- 戸外で自然に触れ、生き物や草花に興味を持っていたか。
- スプーンを使って自ら意欲的に食事を進められていたか。
- 気持ちを簡単な言葉や態度で表現することができたか。
- 絵本などを通して、言葉に親しみを持てたか。
- 一人ひとりの気持ちを言葉や行動から汲み取り、安心して過ごせるようにしたか。
- 新しい生活による体調の変化に留意しながら、健康に過ごせるよう配慮したか。
- 自分で身の回りのことに取り組もうとする姿を温かく見守ったか。
- 前担任と生活の流れや一人ひとりの情報を共有し、安心して過ごせる環境や安全な環境を作れたか。
- 生活リズムや生活の仕方に少しずつ慣れることが出来たか。
- 保護者と家庭や園での様子共有をしたり、保護者の不安に寄り添いながら信頼関係を築いたか。

# ほいくのおまもり Plus!

## 文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

